

[B]

1

$$(1) \quad \text{ア} \quad \frac{5}{4}a^2 \div \frac{15}{2}a = \frac{5a^2}{4} \times \frac{2}{15a} = \frac{a}{6}$$

答 $\frac{a}{6}$

(2) 6 の平方根

答 $\pm\sqrt{6}$

$$(3) \quad (x-2)^2 + (x-2)(x-4) = 0$$

$$(x-2)(x-2+x-4) = 0$$

$$2(x-2)(x-3) = 0 \quad x = 2, 3$$

答 $x = 2, 3$

(4) (説明)

生徒400人の通学時間を短い方から順に並べて並べて、200番目と201番目の値の平均をとる。

(参考)

中央値とは、データを小さい順(または大きい順)に並べたときの中央の値。データの数が偶数のときは、中央の2つの値の平均値

$$(5) \quad \text{ア} \quad y = \frac{1}{2} \times x \times \text{高さ}$$

$$\text{イ} \quad y = \left(\frac{1}{4}x\right)^2 = \frac{1}{16}x^2$$

ウ

$$\text{エ} \quad y = 20x - 300 \quad (x > 15)$$

答 イ, エ

(6) 15 以下の素数

答 2, 3, 5, 7, 11, 13

(7)

3で割ったときのあまりは (1) である。

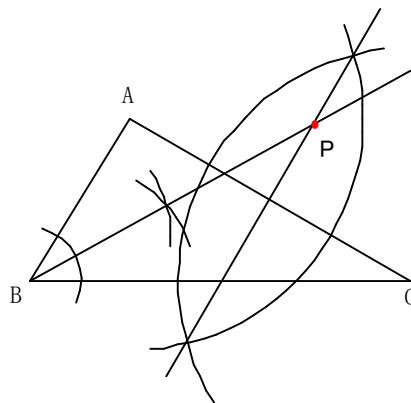
(説明)

6で割ると5余る数と3で割ると2余る数は m, n を整数とすると,
 $6m+5, 3n+2$ と表される。このとき、2数の和は

$$(6m+5) + (3n+2) = 3(2m+n+2) + 1 \text{ である。}$$

$2m+n+2$ は整数だから、6で割ると5余る数と3で割ると2余る数の和を3で割ったあまりは1である。

(8) 答 右図



2

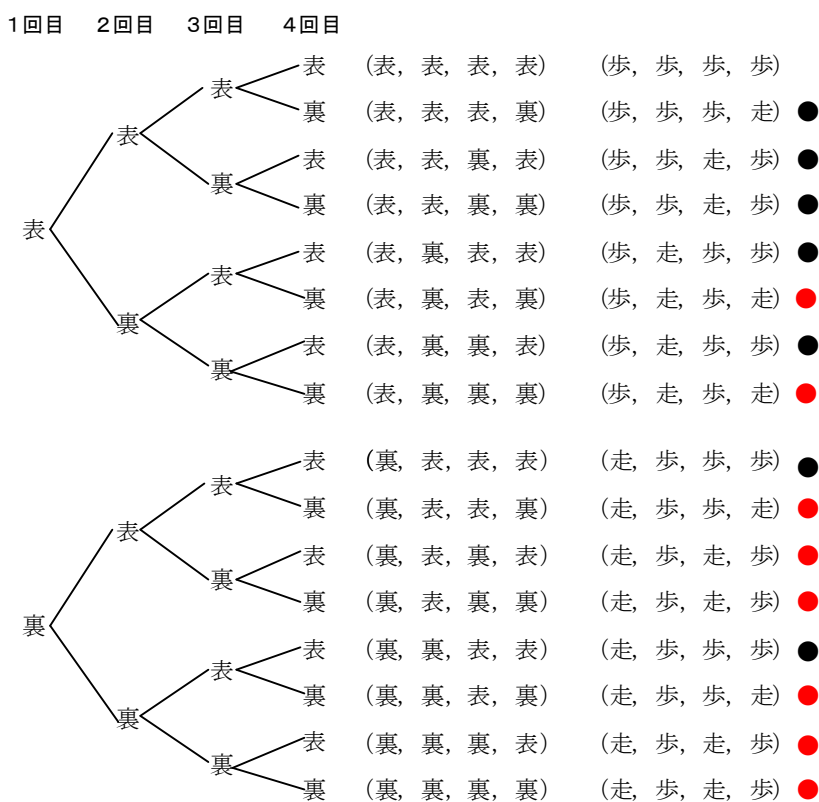
[きまり]
 ○ 1枚の硬貨を4回投げ、投げた順に表か裏かを記録する。
 ○ 記録した表裏に従って1kmごとに順に進む方法を決める。進む方法は、表の場合は「歩く」、裏の場合は「走る」とする。ただし、裏であっても、その直前の区間で「走る」場合は「歩く」ことにする。
 ○ 後もどりせずに1周する。

例：硬貨を4回投げたとき、表裏裏表の順に出た場合の硬貨の記録と進む方法

	1回目	2回目	3回目	4回目
硬貨	表	裏	裏	表

	1kmまで	2kmまで	3kmまで	4kmまで
方法	歩く	足る	歩く	歩く

硬貨の表、裏の出方は全部で $2^4 = 16$ とおりに。参考までに、この16とおりを全部書き出し、「きまり」にしたがって、歩く、走るを整理すると下記のようになる。



(1) 歩くが2回と、走るが2回の場合で (上図の赤丸)

$$12 \times 2 + 6 \times 2 = 24 + 12 = 36$$

答 36(分)

(2) 歩くが3回と、走るが1回の場合で (上図の黒丸)

$$(12 \times 3 + 6 \times 1 = 36 + 6 = 42)$$

16回中7回あるので、求める確率は $\frac{7}{16}$

答 $\frac{7}{16}$

3 (1) 今日仕入れる鮭の個数は、昨日の鮭の個数(600個)より30%減らすから、
 $600(1 - 0.3) = 600 \times 0.7 = 420$ 答 420(個)

(2) ア 昨日仕入れた昆布の個数を x 個、明太子の個数を y 個
 昨日仕入れた昆布と明太子と梅の合計は150個 だから、
 昨日仕入れた梅の個数は、 $150 - (x + y)$ 個

今日仕入れる昆布の個数:昨日の鮭の個数の5%増 $x + 600 \times 0.05 = x + 30$
 今日仕入れる明太子の個数:昨日の鮭の個数の10%増 $y + 600 \times 0.1 = y + 60$
 今日仕入れる梅の個数:昨日の鮭の個数の15%増 $150 - (x + y) + 600 \times 0.15$
 $= 150 - x - y + 90$

今日仕入れる昆布と明太子の合計数: 220 個
 $(x + 30) + (y + 60) = 220$

今日仕入れる鮭と梅の合計: 明太子の5倍
 $420 + (150 - x - y + 90) = 5(y + 60)$

以上より、

$$\text{答} \begin{cases} (x + 30) + (y + 60) = 220 \\ 420 + (150 - x - y + 90) = 5(y + 60) \end{cases}$$

$$\text{イ} \begin{cases} (x + 30) + (y + 60) = 220 \text{-----①} \\ 420 + (150 - x - y + 90) = 5(y + 60) \text{----②} \end{cases}$$

$$\text{①より } x + y = 130 \text{ -----①'}$$

$$\text{②より } x + 6y = 360 \text{ -----②'}$$

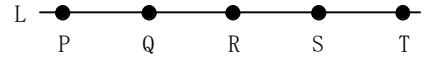
$$\text{②' - ①' } 5y = 230 \text{ , } y = 46$$

$$x = 130 - y = 130 - 46 = 84$$

$$\text{答} \begin{cases} x = 84 \\ y = 46 \end{cases}$$

4 (1) 点Aの x 秒後の点Pからの位置 $y = ax$

図1



ア $a=2$ で, 2秒後の

点Aの位置 $y = ax = 2 \times 2 = 4$

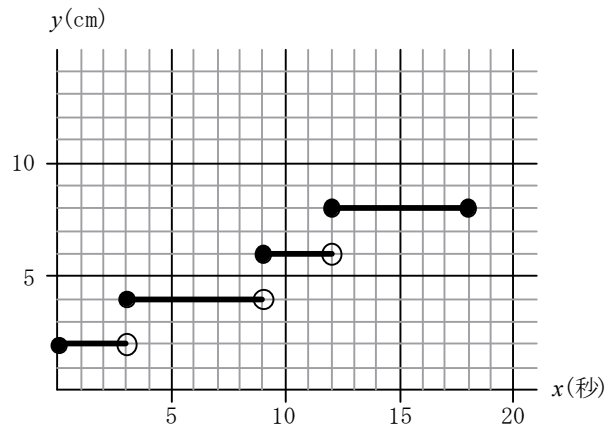
点Bの位置 $0 \leq x < 3$ のとき, 点Q上にあつて, $y=2$

答 点A $y = 4$

点B $y = 2$

イ 答 右図

図2



ウ $a = \frac{2}{3}$ のとき, 点Aは点Bと $y = 4, 6, 8$ で交わる。(下の図2参照)

$$y = \frac{2}{3}x \rightarrow x = \frac{3}{2}y$$

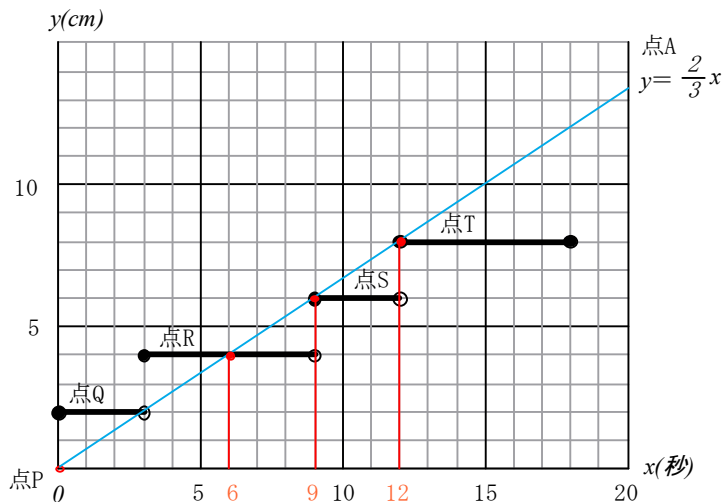
$$y = 4 \text{ のとき } x = \frac{3}{2} \times 4 = 6$$

$$y = 6 \text{ のとき } x = \frac{3}{2} \times 6 = 9$$

$$y = 8 \text{ のとき } x = \frac{3}{2} \times 8 = 12$$

答 $x = 6, 9, 12$

図2



(2)

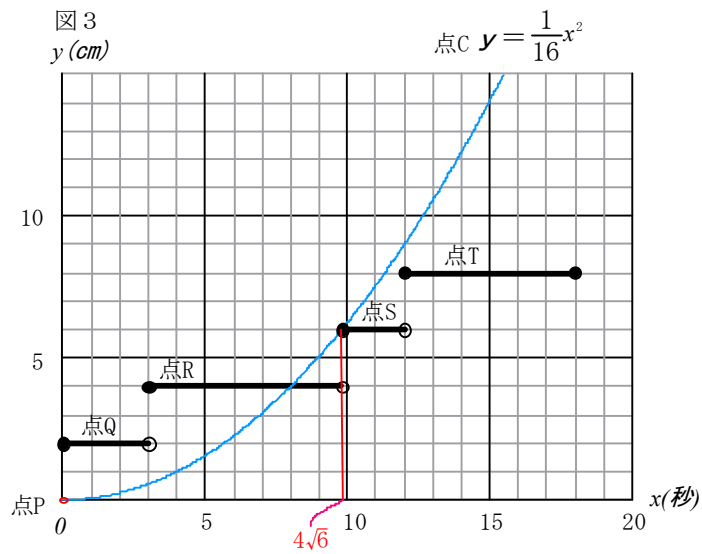
$$y = \frac{1}{16}x^2 \text{ より, } x^2 = 16y$$

点Cと点Dが2回重なるうちの大きい方は(下の図3を参照)

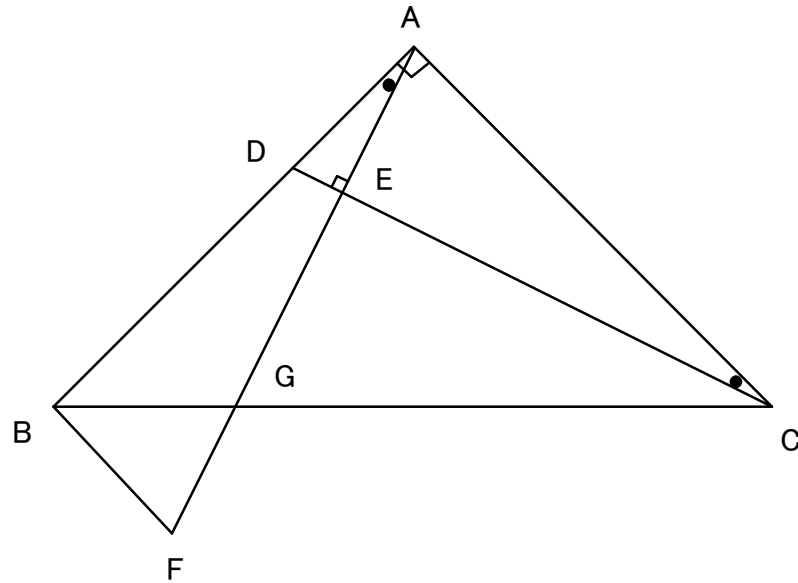
$$y = 4 \text{ のとき, } x^2 = 16 \times 4 \quad x = 8$$

$$y = 6 \text{ のとき, } x^2 = 16 \times 6 \quad x = 4\sqrt{6} \text{ —○}$$

答 $4\sqrt{6}$



5 (1)



$\triangle ADC$ と $\triangle BFA$ で

仮定より,

$$CD=AF$$

$\triangle ABC$ は直角二等辺三角形だから,

$$AC=BA$$

$\triangle ADC$ で, $\angle CAD=90^\circ$ より

$$\angle ACD=180-90-\angle ADC=90-\angle ADC$$

$\triangle ADE$ で, $\angle DEA=90^\circ$ より

$$\angle EAD=180-90-\angle ADE$$

③, ④から

$$\angle ACD=\angle BAF$$

①, ②, ⑤から,

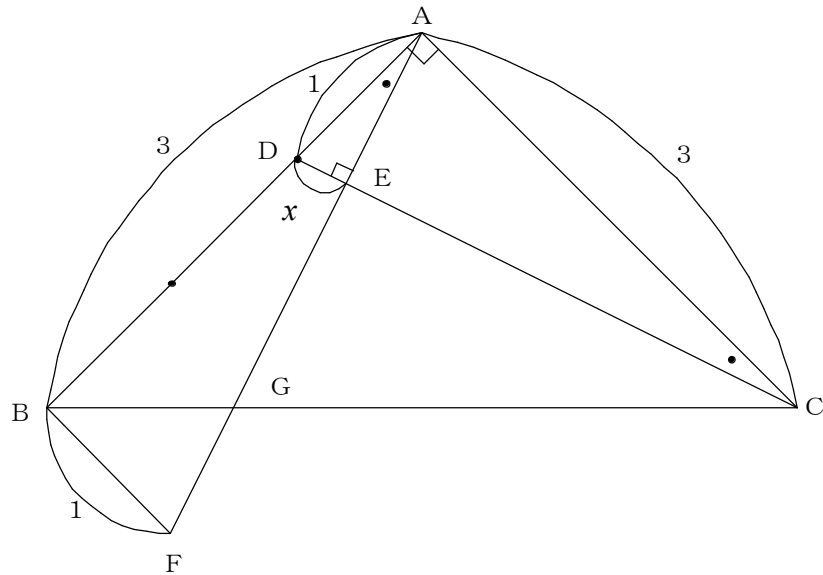
2組の辺とその間の角が, それぞれ等しいので,

$$\triangle ADC \equiv \triangle BFA$$

したがって, $AD=BF$

(2) $AD = \frac{1}{3}AB$

ア $\triangle BFG$ と $\triangle AEC$ の面積の比を求める。



$AD=1$, とすると, $AB=AC=3$,

$$\triangle ACD = \frac{1}{2} \times 3 \times 1 = \frac{3}{2}$$

$$CD^2 = AC^2 + AD^2 = 3^2 + 1^2 = 10 \quad CD = \sqrt{10}$$

$\triangle ACD \sim \triangle AED$ (2辺とその間の角が等しい)だから,

$$1 : \sqrt{10} = x : 1 \quad x = \frac{1}{\sqrt{10}} = \frac{\sqrt{10}}{10} \quad EC = \sqrt{10} - \frac{\sqrt{10}}{10} = \frac{9\sqrt{10}}{10}$$

$$DE : EC = \frac{\sqrt{10}}{10} : \frac{9\sqrt{10}}{10} = 1 : 9$$

$$\triangle AEC = \triangle ADC \times \frac{9}{10} = \frac{3}{2} \times \frac{9}{10} = \frac{27}{20}$$

$\triangle BFG \sim \triangle AGC$ (BF//AC だから)

$BG : BC = BF : AC = 1 : 3$

$$\triangle ABG = \frac{1}{4} \triangle ABC = \frac{1}{4} \times \frac{3 \times 3}{2} = \frac{9}{8}$$

$$\triangle BFG = \triangle ABF - \triangle ABG = \frac{3}{2} - \frac{9}{8} = \frac{3}{8}$$

以上から

$$\triangle BFG : \triangle AEC = \frac{3}{8} : \frac{27}{20} = \frac{15}{40} : \frac{54}{40} = 15 : 54 = 5 : 18$$

答 5 : 18

